

令和6年秋の踏切事故防止キャンペーン

令和6年9月21日(土)～9月30日(月)までの10日間、JR東海では秋の踏切事故防止キャンペーンを実施しております。

長野県内では、平成25年度から令和4年度までの10年間に53の踏切事故が発生しており、そのうちの28件は警報機が鳴っている踏切に進入して列車に衝突したもので、無理な横断や安全確認を怠ったことが原因となっています。

警報機が鳴っているときは、踏切の中には絶対に入らないで下さい。

踏切通行者はもちろん、列車のお客様、さらには沿線の方々の命と財産をお守りするためにも、踏切事故防止にご協力くださいますよう、お願いいたします。

事故件数は北陸信越運輸局HP「鉄軌道における運転事故等の発生状況（北陸信越運輸局 管内令和5年度）」より



ふみきり
踏切の手前で
止まれ！

右と左を確認
しようね。

踏切通行ルールを守りましょう。

秋の踏切事故防止キャンペーン

9月21日(土)～30日(月)

踏切の直前で一時停止、目と耳で左右の安全を確かめる。	踏切の向こう側が強直していたら踏切に入らない。
警報機が鳴りはじめたときや遮断機が降りてきたら踏切に入らない。	踏切内で立ち往生したら、非常ボタンを押す。発煙筒や手を振って列車に知らせる。

JR東海